

## 報告第 2 号 令和 3 年度 大船渡市空家等対策計画の達成状況について

## 1 計画の達成状況（数値目標の実績値）

指 標	単位	現状値 (R1)	R2 年度	R3 年度	中間値 (R6)	目標値 (R12)
空家等に関する相談件数(A)	件	8	22	76	24	36
A のうち、問題解決に 結びついた件数 ※1	件	2	0	9 (1)	8	13
【参考】Aのうち、当面の 対応は不要な件数 ※2	件	3	21	63	-	-
【参考】Aのうち、何らかの 対応が必要な件数	件	(R1 末)3 (R3 末)2	(R2 末)1 (R3 末)0	5		
セミナー等の参加人数 (累計) ※3	人	—	—	0	150	300
空き家バンクの登録数 (累計)	件	10	16	38	40	70
うち空き家バンク成立 件数	件	5	6	13	20	35
住宅リフォーム助成(空き家 バンク利用)件数(累計)	件	1	0	2	11	21
特定空家等の認定件数	件	—	0	0	0	0

※1 ① 解決とは、解体や利活用等により空家等が解消されたことを指します。解消に至った理由は、解体が4件（うち補助金活用3）、利活用が5件となっています。

② カッコ内は内数で、過年度の相談分の解決件数です。令和元年度と2年度に同じ空家等に関して相談を受けていた事案が、令和3年度に解体されたものです。

※2 当年度の相談件数(A)から※1を除いたもののうち、経過観察等の対応が不要なものの件数を示しています。

※3 セミナー等の参加者数については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催を見送ったため、0人となっています。

## 2 施策の効果の検証

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、相談会等の開催を見合わせたため、空家等の発生抑制や適切な管理に関する取組が課題となっています。今後は、各種団体の協力のもと、所有者等が専門家に直接相談できる体制作りを進めていきたいと考えています。
- ・令和3年度の相談件数は、前年度の3倍以上に増加しました。これは、空家等対策の窓口を一本化したことや、改修・除却工事補助制度を創設したためと考えられます。
- ・相談件数の約半数は補助金の問合せで、特に、除却工事補助金に関するものが多く、補助制度が処分の検討を後押ししているものと考えられます。ただし、補助金を受給するために管理をしないという状況を生まないように、所有者等による管理の必要性等の周知が必要と考えられます。

- ・空き家バンク登録件数の増加については、担当課（企画調整課）による働きかけが成果に結びついています。一方、空き家バンクの登録後、未成約で登録期間満了となる等、思うように利活用が図られない物件も生じており、ニーズとのマッチングが課題と考えられます。

**【参考】 各年度の相談内訳**

年度	区分	件数	内 訳
R2	相 談	17	補助金 2、処分・活用 12、管理 2、その他 1
	通 報	2	保安上（部材飛散） 1、生活環境 1（草木繁茂）
	その他	3	市内の空家の状況の問合せなど
R3	相 談	63	補助金 38、処分・活用 13、管理 4、その他 8
	通 報	13	保安上 2（部材飛散）、生活環境 11（草木繁茂、ハチ、害獣等）

※令和3年度の通報は13件ですが、原因となった空家等は14箇所となっています。

※解消した9件のうち、空き家台帳の掲載件数は5件となっています。（解体3、利活用2）